

大宮

THE OHMIYA HACHIMAN

令和 7 年 (2025)

皇紀 2685 年

新春号

【第 131 号】

<http://www.ohmiya-hachimangu.or.jp/>



第 11 回フォトコンテスト 宮司賞『鳥居と同じ赤い橋』堀内凉子氏撮影

令和七年乙巳歳の新春にあたり 謹んで皇室を中心とする国家の隆昌と 氏子崇敬者の皆様の清福を熟禱申し上げます

宮司 鎌田 紀彦

三笠宮妃百合子殿下が昨年11月15日午前6時32分、御療養中の聖路加国際病院で薨去あそばされました。御年百一歳であられました。妃殿下の当宮への格別の御心に思いを致すとき、誠に悲しみの極みであります。

宮内庁から御案内があり、25日夜の縁故者の御通夜は三笠宮邸に参邸し、午後8時にお側近くに伺わせていただきました。

翌26日には、斂葬の儀が文京区の豊島岡墓地において斎行され、参列させていただきました。午前10時の葬場の儀では、饌及び幣物が献じられ、坊城司祭長が祭詞を奏上。勅使、皇后宮使、上皇使、上皇后使、喪主、秋篠宮皇嗣同妃両殿下をはじめ皇族方が御拝礼。ついで元皇族、親族、石破総理をはじめ三権の長、駐日外交団代表らの参列諸員の拝礼が行われ、小生も拝礼をさせていただきますました。

三笠宮妃百合子殿下におかれましては三笠宮崇仁親王殿下と共に当宮に格別の御心をお寄せになり、平成20年10月31日に、三笠宮崇仁親王殿下の御著書『わが歴史研究の七十年』のご出版記念のお祝いの会を当宮で開催されるにあたって、両殿下お揃いでお参りを頂く光栄に浴しました。当日は、正午に御成りになり両殿下お揃いで御神前にお進みいただき、親しく紅白の立玉申を奉り御参拝を賜りました。皇族として誠に真摯に御拝礼されるお姿を拝し、恐懼と共にご感服させていただいた次第でありました。御拝のあと社殿より御退出

時に、丁度満開の大宮桜(冬桜)をご覧になり、御参拝記念と御出版記念の植樹として「高野槇」のお手植えを賜りました。その後、第30回杉並大宮菊花展をお揃いで御台覧を頂くなど境内を散策され、御出版のお祝いの会へとお進みになりました。お祝いの会は古代エジプト学の村治笙子様を中心に両殿下とごく親しい古代オリエント研究の各氏と共に私共夫婦も陪席、楽しく和やかなご歓談のうちに進められ、予定より1時間40分も延長してお開きとなり、御帰還になりました。ゆつくりとお寛ぎの御様子でありました事は何よりの事と存じました。

その後の12月2日の午後2時大殿下のお誕生日にあたり、三笠宮付宮務官より私共夫婦にも案内状を頂戴し、参邸させていただきました。御誕生日のお祝いと改めて御成りの御礼を言上し、御参拝記念の写真集を献上いたしました。お陰様で両殿下に恐れ多くも親しくご挨拶をさせていただきます、その上、高円宮妃殿下をはじめ御息女の近衛甯子様、千容子様ともお目に掛かりお話をできました事は身に余る光栄であり、出会いのご縁の有り難さと大切さを実感した良き思い出でございます。

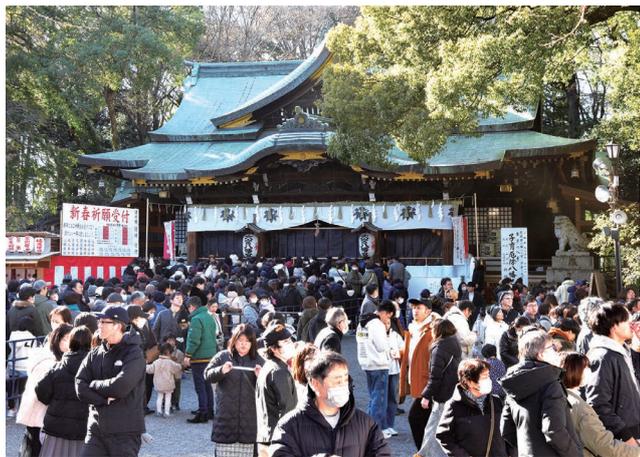
今年は皇紀2685年(西暦2025年)にあたり、昭和以来100年、平成以来37年となります。当宮御参拝の皆様には、本年もご神威輝くご神前にお参りいただき、大宮八幡宮の神々とのご神縁と絆をより深く結ばれ、豊稔昇る初日(朝日)を浴びて、更に活気のある幸せ多き年となりますよう祈念し年頭の挨拶と致します。



明けましておめでとうございます
 令和七年乙酉歳正月
 一日 観世流能楽師 野村昌司奉納 神能「翁」
 二日 小笠原流除魔神事 蒙目の儀・大的式

元日午前零時、宮司の打ち鳴らす初太鼓が境内に響き渡り、令和7年の幕開けとなります。新春を祝うご参拝の皆様が拝殿前へと続く中、拝殿内では観世流シテ

方能楽師の野村昌司師による神能「翁」が奉納され、天下太平・国土安穩を祈念します。ついで宮司奉仕により歳旦祭引き続き新春厄除開運初大祈願祭（一番祈願祭）を



齋行。皇室国家の弥栄、五穀豊穰と国民の安寧、諸願成就を祈念いたし、2月2日の節分まで新春初祈願祭が奉仕されます。

2日午前には、小笠原流宗家による新春除魔神事、蒙目の儀・大的式が奉納されます。蒙目の儀では、目撃鳴鑼矢の「ヒュー」という霊妙な風切り音により魔障を退散させ、弓威により一年の邪気を祓います。3日には、皇位の大元始を寿ぐ元始祭を齋行。こうして大宮八幡宮の一年が始まります。

新春献燈提灯奉納のご案内

新春の期間、1月1日～2月2日まで、皆様のお名前を入れた献燈提灯を掲出させていただきます。世の中の幸多き未来を照らし出すように祈念してご社頭を賑々しくお飾りします。



令和7年

新春の祭典と主な行事

- 1月1日 神能「翁」
 - 1月1日 歳旦祭引き続き新春厄除開運初大祈願祭（一番祈願祭）
 - 1月2日 小笠原流蒙目の儀・大的式
 - 1月3日 元始祭
 - 1月7日 昭和天皇祭遙拝
 - 1月15日 古神札焼納祭（とんど焼き）
 - 1月25日 初天神大祭「大宮天満宮」
 - 1月26日 文化財防火デー・消防演習
 - 2月2日 節分祭鳴弦の儀・豆撒神事
 - 2月6日 初午大祭「大宮稲荷神社」
 - 2月11日 紀元祭
 - 2月23日 天長祭
 - 2月25日 梅花祭「大宮天満宮」
 - 3月20日 春季皇霊祭遙拝
 - 3月下旬 大宮八幡桜まつり
 - 4月上旬 大宮八幡桜まつり
 - 4月1日 応神天皇陵遙拝
 - 4月3日 神武天皇祭遙拝・本宮遙拝
 - 4月29日 昭和祭・春の弓道奉納射会
 - 5月3日～5月5日 大宮八幡宮わかば祭り（春の大祭）
- 第一日ノ儀 (3日) こともの祭り・稚児行列・はしご乗り
- 第二日ノ儀 (4日) 植樹祭「苗木配布」
- 当日祭「尚武祭」祈年祭 (5日) 御嶽樺名神社例祭「御嶽樺名神社」
- 5月16日 裏千家献茶式
- 5月24日 狭城盾列池上陵遙拝並びに神功皇后祭
- 6月3日 朔旦祭
- 毎月1日 朔旦祭
- 毎月15日 月次祭
- 毎月25日 大宮天神月次祭
- (どなたでもご自由に参列できます。)

毎月・お朔日参りを致しましょう

謹 賀

令和七年元旦

大宮八幡宮

- 代表役員宮司 鎌田 紀彦
- 責任役員 藤枝 宏友、内山 誠、瀨沼 宏章、玉村 恭男、鈴木 憲章、末柄 哲男
- 議長 丸山 光男
- 監査 笠原 紀一、瀨沼 年男、細野 修三
- 総代 大宮地区 荒井 昭一、古屋 進、前田 正文、五本木 勝、末柄 哲男、根岸 政明
- 方南南地区 丸山 光男、齋藤 恵一、内山 誠、山崎 政義、相川 雄一、三枝 稔明
- 方南北地区 岩崎 太良、齊藤多美夫
- 尾崎熊野神社 蕪山 広司
- 和田東地区 横尾 信彦、佐野 晃央、岩船 守男、笠原 紀一、玉村 恭男
- 和田西地区 藤枝 宏友、森川 純一、池田 鐘司、葉梨 俊郎、春原 功典
- 松ノ木地区 太田 正、瀨沼 年男、瀨沼 宏章、松島 敏之、井川 邦夫、松島 穰、小川宗次郎
- 東京都敬神婦人連合会 大宮八幡宮敬神婦人会 (りんどう会) 会長 鎌田 民枝
- 大宮八幡宮氏子青年会 会長 井川 邦夫
- 兼務神社総代会長 堀ノ内熊野神社 渋谷 達雄
- 成宗白山神社 岩田 和保

大宮八幡宮 早春の行事

新春恒例の除魔神事、 墓目の儀・大的式

年頭にあたり、恒例の弓の除魔神事である墓目の儀・大的式が、小笠原流宗家と一門の方々により、1月2日午前10時に奉納されます。矢先につけた墓蛙に似た鐺の形を墓目といい、射ると「ヒュー」という霊妙な音が鳴り魔障が退散するといわれています。大的式は、約1500年前、清寧天皇の御代に射を行ったとの『日本書紀』の記述に基づき、公家・武家に伝わる重儀であり、いずれも当宮の新春恒例の天下太平・国家安泰を祈念する弓始めの神事です。



古神札焼納祭(とんど焼き)齋行

小正月の伝統行事、古神矢・古神札焼納祭(とんど焼き)が、1月15日睦月月次祭に続いて齋行されます。古く宮中では小正月に清涼殿東庭で吉書(きしよ)を焼く左義長の儀式が行われました。当宮ではこの故事に基づき、社殿にてまず睦月月次祭に併せて焼納奉告祭を行い、続いて午前11時半より拝殿前特設齋場にて焼納祭を齋行します。参拝者の皆様がお納めになった正月飾りをはじめとして、ご神札、お

とんど焼きにご協力をお願い

ご神札等をお納めいただく際に全て点検・選別させていただき、神社関係以外のもの燃えないもの・有毒物質の発生のおそれのあるもの(プラスチック製品等)・包装紙は、その場でお持ち帰りいただいております。
◆お守り・古神矢・古神札類(他の神社のものも可)及び正月飾りのみお預かりいたします。
◆人形類は、別途ご社殿におきます。感謝祭を齋行してからお納めいただきますので、直接祈願受付所へお申し出下さい。但し、ぬいぐるみはお預かりできません。

守り、守護矢、注連縄等が齋場に積み上げられ、まず古式に則り火鑽神事が行われ、熾(さか)された浄火により点火。燃えさかるお焚き上げの忌火を前に宮司以下神職が大祓詞を奏上し、参列の皆様をはじめ氏子崇敬者各位のこの一年の除災招福を祈ります。また境内では、当宮敬神婦人会(りんどう会)により厄除ぜんざいが浄火によって炊かれ、振る舞われます。



大宮天満宮初天神大祭

1月25日午前10時より初天神大祭が齋行されます。御祭神であり学問の神様である菅原道真公に学業成就・技芸上達を祈願します。また、梅の香かおる梅ヶ香御守が社頭にて特別に授与されます。



文化財防火デー消防演習

昭和24年1月26日、世界最古の木造建造物である奈良・法隆寺の金堂で火災が発生し、壁画の多くが焼失しました。貴重な文化財が失われる事態を防ぐため、この日は文化財防火デーと定められました。当宮では自衛消防隊・杉並消防署・杉並消防団第2分団による消防訓練が毎年実施されます。午前10時、御社殿からの出火を想定して通報連絡、初期消火、文化財の搬出、避難誘導等の訓練が行われ、社殿への一斉放水が実施されます。



成人奉告祭ご案内

新年を迎え新たに成人したことをご神前に奉告し、神明の御加護のもと社会の一員としての自覚を新たにされる成人奉告祭を随時ご奉仕しています。ご祈願の新成人の皆様には宮司揮毫の干支絵馬を特別授与いたしております。新成人の皆様のご参拝をお待ちしております。

節分祭(鳴弦の儀・豆撒神事)

立春の前日の節分は四季の変わり目の中でも特に重視されてきました。悪疫邪気を追い払う追儺神事は中国より渡来したもので、『続日本紀』には文武天皇の御



新春初祈願祭のご案内

元旦の午前零時、その年最初の祭典である歳旦祭に引き続き「新春厄除開運初大祈願祭(一番祈願祭)」が宮司奉仕により執り行われます。この祈願祭は、あらかじめ予約申込みを頂いております。引き続き午前1時より氏子・崇敬者の皆様の新しい年のご繁栄をお祈りする新春初祈願祭を行っております。ご家庭や職場の皆様のご祈願に際して、2月2日の節分まで随時ご祈願祭をお受けしております。



また左記の時間の祭典及び、新春奉納行事などの参拝の際は祭典終了までお待ちいただく場合がございます。詳細は社務所までお尋ねください。
1月3日午前9時 元始祭
1月15日午前10時 月次祭

企業団体の祈願祭も

企業・団体様の仕事始めに合わせて、更なるご発展を祈る祈願祭もご奉仕しております。祈願祭にはご代表様・従業員の皆様お揃いでご昇殿いただきます。ご祈願を受けられ清々しい仕事始めと致しましょう。
新春初祈願祭に限り、社頭の申込書に必要事項をご記入の上、事前申込みいただけます。

2月の最初の午の日である2月6日の午後1時に、**大宮稲荷神社初午大祭**が斎行されます。約1300年前の和銅4年(711年)の初午の日に京都伏見の峰に稲荷大神が降臨されたという故事により、全国の稲荷神社で初午祭が斎行されています。二百本余りの鮮やかな朱色の**初午のぼり**が立ち並びながら、のぼり奉納者・崇敬者の参列のもと、**祭典**が斎行されます。また、兼務社の堀ノ内熊野神社・成宗白山神社・尾崎熊野神社、境外社の谷中稲荷神社でも執り行われます。

大宮稲荷神社初午大祭



その後、鬼のお面をつけた当宮幼稚園園児が参加して行われる**豆撒き神事**も微笑ましい節分の行事として親しまれています。

代に疫病を鎮めるために行われたとの記述があり、我が国でも古来より行われていました。当宮では2月2日に**節分祭**を斎行し、宮中の例に倣い桃弓・葦矢で「天・地・鬼門」に潜む魔を射る**除魔神事**を行い、ついで社殿前にて宮司により弓の弦の鳴る音で**妖魔を祓う鳴弦の儀**が行われます。



2月23日は、今上陛下の御誕生日にあたり、陛下の益々々のご健勝と皇室の弥栄、国民の平安を祈る**天長祭**が午前10時より斎行されます。ついで清涼殿2階に設

天長祭並びに皇居遙拝



を祈念申し上げます。引き続き清涼殿2階の特設齋場で神武天皇をお祀りする**檀原神宮を遙拝**します。

紀元祭並びに檀原神宮遙拝

2月11日は建国記念の日(紀元節)で、全国各地で我が国の建国を寿ぐ諸行事が行われます。当宮では午前10時より**紀元祭**が斎行され、皇室国家の繁栄・国運の隆昌、世界の平和を祈念申し上げます。



初午のぼり奉納募集

お稲荷様は、商売繁盛・家内安全のご利益のある神様です。本年も、左記により商売繁盛・家内安全等を祈願する「朱色のぼり」を大宮稲荷神社のご社頭にご奉納賜りますようお願いいたします。

一、朱色のぼり 一口三、〇〇〇円

できましたら一対二口以上でお願いいたします。のぼりには、ご氏名(または会社名)を入れてさせていただきます。

納奉 大宮稲荷神社 初午大祭
奉納 大宮稲荷神社 初午大祭

桜の開花する3月下旬から4月上旬には、大宮八幡宮を中心とする和田堀公園(旧境内)一帯で善福寺川沿いの約700本の桜が一斉に咲き誇ります。開

大宮八幡桜まつり開催

子育て八幡様のご加護を戴き、6年間の学業成就や学校生活の充実、交通安全を祈願する**勸学祭**を斎行し、これから毎日背負うこととなるランドセルをお祓いします。小学校への入学は大きな人生の節目です。ご神前にて**ランドセルのお祓い**を受け、心身共に清々しい気持ちで新学期を迎えましょう。



勸学祭・ランドセルお祓い式

梅が枝、梅花米がお供えされ、諸願成就が祈念されます。



2月25日は天満宮の御祭神である菅原道真公のご命日にあたり、梅の花をこよなく愛でた道真公を偲び**梅花祭**が斎行されます。

大宮天満宮梅花祭

けられた齋場にて皇居遙拝並びに聖寿の万歳を執り行います。

新春厄除祈願祭のご案内

厄年は、古来人生の節目として特に気をつけなければならぬとされている年回りです。厄除けのお祓いをお受けになり、清々しい一年に致しましょう。

令和7年厄年表(数え年)

男	前厄	本厄	後厄
	平成14年生(24歳)	平成13年生(25歳)	平成12年生(26歳)
	昭和60年生(41歳)	昭和59年生(42歳)	昭和58年生(43歳)
女	前厄	本厄	後厄
	平成20年生(18歳)	平成19年生(19歳)	平成18年生(20歳)
	平成6年生(32歳)	平成5年生(33歳)	平成4年生(34歳)
性	前厄	本厄	後厄
	平成2年生(36歳)	平成元年生(37歳) 昭和64年生	昭和63年生(38歳)
	昭和41年生(60歳)	昭和40年生(61歳)	昭和39年生(62歳)

※本厄の前年は前厄、後年は後厄にあたります。厄年に限らず、除災招福の厄除祈願を受けることができます。

花シーズンの土曜・日曜は午後8時まで開門し、大宮八幡桜まつりを開催。夜間参拝と桜満開の和田堀公園への通り抜けができます。



杜の話題

大宮八幡祭り(秋の大祭)

恒例の大宮八幡祭り(秋の大祭)では、まず9月13日に若宮八幡神社・白幡宮例祭を斎行、9月15日には例祭併せて氏子奉幣祭が斎行されました。祭典では裏千家淡交会東京第6西支部による奉茶の儀の後宮司が祝詞を奏上。神社本庁の献幣使として小野貴嗣(東京都神社庁庁長・小野照崎神社宮司)が参向され、本庁幣を献じ祭詞を奏上いただきました。また、本年度副奉幣使(副祭礼委員長)の末柄哲男(責任役員)が大宮・方南南・方南北・和田東・和田西・松ノ木の氏子6地区よりの浄財を氏子幣として大前に献じられ、奉幣使



第24回十五夜の神遊び

大祭期間中には大宮幼稚園園児民謡踊り・杉並太鼓・方南エイサー踊り・高井戸囃子などの奉祝行事が行われ、露店も出店されて境内は大変賑わいました。さらに重陽の節句菊被締飾りが9月9日より16日まで清涼殿ロビーにて展示されました。

昨年(旧暦8月)は9月17日であり、週末土曜日の21日に第24回十五夜の神遊びが斎行されました。夕刻6時より約130



(祭礼委員長) 藤枝宏友(責任役員)が氏子折願詞を奏上されました。

続いて巫女4人による浦安の舞が奉奏され、祭典終了後は直会が開かれました。同日午後6時には、第36回神輿合同宮入りが斎行されました。本年は9基の神輿が大宮宮元會神幸所より発興し、順調に表参道を進み、江戸消防記念会第九区八番組の木遣りを先頭に神門内大前に練り込み、熱気に満ちた神輿振りは最高潮に達しました。

0基の竹灯笼に神職や参列者等の手によつて火が点され、仲秋祭を斎行。本殿では雅楽「陪臚」が、神楽殿では「浦安の舞」が奉奏



されました。引き続き神楽殿にて月の音舞台が開かれ、尺八奏者き乃はち氏による演奏が奉納されました。

中学生職場体験

当宮では近隣の中学校の職場体験を受け入れており、9月27日から29日に大宮中学校2年生女子2名が参加しま



した。神職の指導により白衣袴姿で朝拝に参列。境内の説明から掃き掃除、雅楽体験、授

与所でのお守りの授与、祓詞の書写、宮司よりの講話等を受け、神社でしかできない多くの経験をしました。最終日には装束を着けて記念写真を撮影しました。

東京都八幡会研修旅行 大分・福岡県方面へ

毎年恒例の東京都八幡会(会長…当宮鎌田宮司)の研修旅行が「大分県・福岡県八幡信仰を訪ねて」と題し開催されました。16名が参加し、10月7日から9日

の日程で行われました。

まず、大分空港に到着した一行は、杵築市に鎮座する比売大神(ひめがみ)の霊地であり、応神天皇が顕現前に遊幸されたとされる奈多宮を参拝しました。次に、国指定重要文化財並びに史跡に指定されている崖に刻まれた巨大な熊野磨崖仏(まがひだらぶつ)を参拝しました。その後、全国八幡社の総本宮である宇佐神宮を正式参拝。御霊水と呼ばれる八幡大神顕現の聖地である3つの霊泉や上宮のある小椋山の山神をお祀りした亀山神社、宝物館など境内を巡り、来年に控えた御鎮座1300年勅祭記念事業として進行中の勅使門及び東西回廊の葺き替えを見学し、湯布院温泉に宿泊しました。

2日目は、湯布院自由散策となり、その後福岡県に移動、宇佐神宮・石清水八幡宮と共に三大八幡宮とも呼ばれる宮崎宮を正式参拝し、由緒の説明を受けました。

3日目は、仲哀天皇・神功皇后の神霊を祀る香椎宮を参拝。ついで志賀島に鎮座する綿津見三神(わたづみさんかみ)をお祀りする志賀海神社を参拝しました。その後、太宰府市に移動し、坂本八幡宮を参拝し、菅原道真を祀る天神様の総本宮である太宰府天満宮





宝満宮竈門神社、神功皇后が応神天皇をお産みになられた地に応神天皇を祀った宇美八幡宮を参拝し、帰途につきました。

全国八幡宮連合 第43回研修会

全国八幡宮連合の主催する第43回研修会が、11月5日から6日にかけて行われました。当宮より宮司、神職1名が参加し、北海道函館の視察を行いました。初日は函館八幡宮を正式参拝。ついで、歯科医師であり道南地方の郷土史を研究されている齊藤裕志先生の「函館地方の歴史を語る」と題した講演会が行われ、その後の懇親会では、松前神楽の清興が披露されました。翌6日には五稜郭タワーより五稜郭を見学し、函館護国神社を自由参拝。その後、西部地区にある幕末から明治にかけての諸施設の外観を徒歩で見学し、更に赤レンガ倉庫群を散策して散会となりました。

へ向かいました。御本殿御屋根葺替えの為、珍しい御屋根に木々や草花を植えられた仮拝殿にて正式参拝の後、御本殿御屋根の葺替えを拝観しました。次に玉依姫命をお祀りする

大宮幼稚園年中組の園児たちの「大好きな人」をテーマにした56点の作品が、神門南側回廊に11月3日より11月30日まで展示されました。園児や父母たちが、自分やお友達の描いた作品を鑑賞していました。

大宮幼稚園園児画展



一万人のお宮奉仕 清掃奉仕



全国各地の神社仏閣にて清掃奉仕活動を展開している一万人のお宮奉仕の活動が11月5日に正式参拝の後境内の落ち葉を集めるなど清掃奉仕活動を行いました。午後には懇談会を行いました。

神宮大麻頒布式並びに氏神社神符等奉戴式

11月13日、新春を迎えるにあたり氏子崇敬者・立正佼成会会員の方々にお



頒ちます神宮大麻頒布式並びに氏神社神符等奉戴式が斎行されました。藤枝責任役員、内山責任役員、瀬沼責任役員、末柄責任役員、兼務神社役員、森川総代、立正佼成会神札頒布責任者の森川順子様のご参列のもと、ご神前にて神宮大麻や各氏神大麻、大

宮三宝荒神などの神札類の頒布始めを大神様に奉告後、各代表に授与されました。また12月中旬には神職が各ご家庭にお伺いして神宮大麻、氏神様のお札、三宝荒神様の御神札をお頒ちしております。ご希望の方は、当宮社務所もしくはお近くの当宮責任役員・総代にお尋ねください。各ご家庭や会社

事務所の神棚に新しい御神札をお祀りして清々しい一年をお迎えしましょう。



右 神様のお札
中 伊勢神宮のお札
左 三宝荒神のお札

秋の美りに感謝 新嘗祭

11月23日午前9時より、新穀を八幡大神様にお供えし五穀豊穡を感謝する新嘗祭が、宮司以下祭員奉仕により執



庭積机代物

り行われました。責任役員、総代、りんどう会会員、氏子青年会会員、奉納者らの参列のもと斎行され、当幼稚園園児らが園内の稲田で丹精込めて育てた稲穂や、サミット(株)、(株)J A東京中央セレ、モニーセンター、山崎製パン(株)など、氏子崇敬者の方々から献納された穀物や野菜果物などが庭積机代物として大前に献じられました。



第31回杉並花笠祭り

12月14日、いまや師走の風物詩となっている第31回杉並花笠祭りが開催されました。サミット(株)・大宮八幡宮の共催で行われるこのお祭りは今回で31回目となりました。当日は午前9時半より開催奉告祭が大前で行われ、神門前のステージで鏡開きが午前10時より行われました。表参道より大前まで午前・午後の2度にわたって花笠踊りのパレードが奉納され、山形産の農作物や特産品の露店が立ち並び、山形県の郷土料理である芋煮や御神酒などがチャリティーで振る舞われました。初冬の境内には午前10時から午後3時まで約2万6000人の参拝者で賑わいを見せました。



境内口ケ撮影

9月23日 CS BS 地方ローカル局
「生島ヒロシの健康マニア倶楽部」撮影
10月21日 フジテレビ「わたしの宝物」
第3話撮影

第46回杉並大宮菊花展

10月26日より11月23日まで第46回杉並大宮菊花展が開催されました。11月6日には杉並大宮菊の会主催のもと審査会を開催、宮司賞以下の選定が行われました。第46回杉並大宮菊花展表彰式は12月17日に執り行われました。



氏子青年会だより

12月22日、年末恒例の門松づくりが行われ、新春を迎える準備を整えました。



第46回杉並大宮菊花展受賞者

宮司賞	国華重文	吉田	光治
杉並区長賞	国華幸運	吉田	晴美
杉並大宮菊の会会長賞	国華船星	松尾	和雄
大宮八幡宮責任役員賞	兼六香菊	青木	弘次
審査委員長賞	泉郷汽笛	庄司	衛
京王電鉄賞	国華八坂	小林	泰子
サミット賞	国華幸運	佐藤	テル子
みどりの会会長賞	精興右近	古澤	泰志
新人賞	国華桜島	佐藤	昭一

ゴールドサーカス開催

9月28日・29日の両日、大宮幼稚園園庭にて革命のサーカス団「ゴールドサーカス」の大宮八幡宮公演が行われました。日本の伝統芸能と現代サーカスを融合させた、日本初の表現スタイルを持つこのサーカスプロジェクトは沢山の親子連れで賑わいを見せていました。



りんどう会だより

御垣内清掃

9月6日、秋の大祭を控えて清掃奉仕が行われました。鎌田会長以下11名の役員・会員は正式参拝の後、御垣内を清掃し御社殿を拭き上げました。

9月27日に第74回全国敬神婦人大

会北海道大会が札幌パークホテルで行われ、全国各地の敬神婦人会会員が出席しました。全国敬神婦人連合会の総務委員長も務める当会鎌田会長が出席、登壇しました。



毎月お朔日参りには

月代り御幣守護を!!

当宮では古くより朔日(二日)、十五日に月参りをされる方が多く、こうした方々に年間を通じて八幡大神様のご神威をお受けいただくこと、毎月の朔旦祭に併せてお朔日参り大御幣振り神事を奉仕して月代りの御幣守護を授与いたしております。

月毎にお申し込みの場合は初穂料三千元、年間一括でお申し込みの場合は初穂料三万円にて齋行いたしております。



大宮八幡宮 第11回フォトコンテスト 入選作品発表

宮司賞（最優秀賞）



『鳥居と同じ赤い橋』
堀内京子

審査委員長賞（優秀賞）



『鳳凰、羽ばたく夜』
高柳寛也

金賞



『杜のひびき in おおみやの剣舞』
岡本洋三

銀賞



『古神矢・古神札等
焼納祭』
佐藤多紀

銀賞



『静寂の時』
宮坂潤一



第11回大宮八幡宮フォトコンテストが開催され、7月31日までに大宮八幡宮の四季折々の風景や、祭礼行事を写し撮った16名、47点の作品が寄せられました。8月19日に、杉本恭子審査委員長をはじめ、宮司・審査委員各位の厳正な審査の結果、最優秀作品1点、優秀作品1点他、各賞が選出されました。また、9月21日には奉告参拝の後、選考作品特設展示会場にて杉本審査委員長より出品者へ総評、各作品の講評が発表され、大宮八幡宮清涼殿「亀の間」で表彰式が行われました。なお、当日は夕刻より第24回十五夜の神遊び（仲秋祭）が行われ、受賞者の方々は秋の夜空に昇る月灯りと竹燈のほの灯りに照らされた境内を散策、しばしの撮影会を楽しみました。

銅賞



『あれ？ゆきだるま
つくれない…』
しろいしゆきあき

銅賞



『神の手』
城石和明

銅賞



『はしごのり』
伊藤年一

第12回 フォトコンテスト 作品募集中

当宮の自然や行事風景を、プロ・アマ問わず皆様の目で写し撮ってください。出品作品は八幡大神様にご奉納いたします。大宮八幡祭り（秋の大祭）期間中に展示し、ご参拝の皆様にご覧いただけます。

応募期間
令和6年8月1日～
令和7年7月31日

募集サイズ：2L・4ツ切サイズ

大宮八幡宮に関係した作品であれば、風景・人物・行事等テーマは自由です。但し、各神事での撮影禁止事項をお守りください。

応募作品はお一人につき5点までです。

詳細は、社頭やホームページ上にて要項をご確認ください。

協力写真店

フォトグラフィ光堂（大宮八幡宮入口）

カメラハウス本店（久我山）

※入賞作品の著作権は応募者本人に帰属しますが、使用権は主催者に帰属するものとし、展示や当宮の出版物・広報・インターネット等に無償で使用させていただきます。（※各媒体掲載時には、氏名のみを掲載させていただきます。）

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|------|-------|-------|------|------|------|------|------|-------|-------|------|------|-------|------|-------|------|------|-------|-------|-------|------|-------|------|-------|------|--------|-------|------|-------|-------|------|-------|------|-------|-------|------|-------|------|------|-------|------|------|------|-------|-------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-------|-------|
| 金子葉太 | 爲川蒼彩 | 池田羽徠亜 | 志岐環 | 戸島多袖 | 柿澤南緒 | 前川颯太 | 前川涼太 | 青山由唯 | 石橋明怜 | 三橋咲葵子 | 中原諒雅 | 横田暁 | 横田陽向 | 千葉紗和 | 田中日月 | 尚山実禾 | 西森紫乃 | 新井りあん | 白鳥芽果 | 横田聡太郎 | 尾形全哉 | 渡邊樂 | 西田エマ | 大河内陽太 | 小栗碧人 | 佐々木慎太郎 | 吉澤澄夕芭 | 中津茉優 | 加藤芹風 | 黒山智仁 | 坂手晴瑠 | 原田松吏 | 村井晴南 | 武田朔空 | 濱野紘希 | 青木景音 | 岩崎裕 | 高堂楓貴 | 成田理仁 | 村井大雅 | 齋藤叶步 | 南葉隆 | 栗崎佑都 | 郡司風 | 内田三結 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 大谷空 | 内上史柁 | 岩崎尚 | 鈴木陽 | 小泉和寅 | 井上蒼土 | 松尾斗季 | 石渡灯悟 | 沖田彩登 | 大友健 | 久保葵 | 中村天音 | 中村粋 | 小野恵莉菜 | 浅野陽大 | 尺田奏十 | 松井響 | 松本志恩 | 安部心遥 | 海老原颯一 | 久保寺昂詞 | 櫻井理仁 | 五十嵐仁菜 | 永田大輝 | 小川碧仁 | 西澤眞秀 | 小尾碧仁 | 戸田碧斗 | 坂口稔泰 | 二木蒼太 | 島崎愛菜 | 竹原美結 | 小林勇陽 | 村上桜愛 | 加藤藤紬 | 小野田凜来 | 濫川陽向 | 渡邊湊風 | 栗山紗奈 | 藤川陽 | 高久蒼生 | 近藤紗来 | 村瀬迅 | 本橋靖幸 | 岩月芽生 | 前田朋希 | 今野岳 | 小島鈴夏 | 田代唯夏 | 鈴木千瑛 | 福鳥莉都 | 橋本夏月 | | | | | | | | | | |
| 千葉風緒太 | 木澤礼人 | 原美久 | 中川志帆 | 高橋直 | 松江葵都 | 永瀬仁 | 永見紗菜 | 外間守時 | 宮崎桜 | 近藤良 | 鈴木碧 | 一丁木新 | 高橋依陽 | 福長夕緋 | 福長夕緋 | 花村千晴 | 花村明莉 | 篠征木裕 | 辰川眺 | 藤原うるは | 野田湊太 | 大屋叶夢 | 田中心夏 | 須崎千智 | 小沢蒼介 | 工藤千鶴 | 服部葵子 | 吉永橙花 | 今井優 | 横谷沙奈 | 高垣健 | 松崎蒼生 | 新里渚季 | 西本彩七 | 船越彩寧 | 船越栄我 | 宮崎乃綾 | 矢野心菜 | 岡山史佳 | 今井陽南子 | 田頭芽依 | 池田悠真 | 矢野佳波 | 武藤叶愛 | 田口琥太郎 | 大塚美涼 | 鈴木碧 | 黒川結翔 | 鈴木伶 | 森田鳳介 | 田村伊織 | 小林美琴 | | | | | | | | | |
| 小林美琴 | 岡田惟代 | 岩下紗良 | 石田すず子 | 大畑洗 | 川上創 | 野中莉羽 | 田邊由人 | 伊東楓真 | 池浦帆南 | 小椋蒼空 | 内田陽葵 | 坂本彩翠 | 西島莉世 | 高橋悠夏 | 宮本權 | 上野采和 | 武田隆史 | 針田隆史 | 浪越帆風 | 新井知遥 | 杉山楓奈 | 浅賀菜柚 | 武藤千桜 | 竹村捺広 | 若林那和 | 熊澤碧唯 | 柴田明莉 | 平田蘭子 | 相良菜佑 | 瀧本蘭太郎 | 今風介 | 山本朝陽 | 藤本曆 | 竹内花 | 上杉伊緒梨 | 市川頌柁 | 林花純 | 池上明里 | 宮崎朔 | 秦望港晴 | 和田季大 | 緒方悠 | 永井迦蓮 | 佐野充 | 齋藤美音 | 窪田慧 | 森田菜那 | 北村風 | 谷川瑞和 | 鎌田光結 | 吉次暁 | 伊藤颯音 | 鳴海然大 | 猪川佳矢 | 隱地幸浩 | 佐藤京真 | 津島聖 | 中谷嘉希 | 堀菜白 | 堀森心陽 | 鈴木いろは |
| 高津明希 | 兼浜莉叶 | 生盛結乃 | 貝沼佑飛 | 代永漣 | 内藤纏 | 間下瑞葉 | 内海嶺南 | 篠崎晴来 | 武田瑠莉 | 高村琉生 | 馬道一颯 | 百武憩 | 磯貝瑠伽 | 結城奏貴 | 下村莉愛 | 田島柳央 | 岩崎月音 | 齊藤汐 | 工藤千鶴 | 須崎千智 | 田中心夏 | 大屋叶夢 | 野田湊太 | 藤原うるは | 辰川眺 | 篠征木裕 | 船越彩寧 | 船越栄我 | 宮崎乃綾 | 矢野心菜 | 岡山史佳 | 今井陽南子 | 田頭芽依 | 池田悠真 | 矢野佳波 | 武藤叶愛 | 田口琥太郎 | 大塚美涼 | 鈴木碧 | 黒川結翔 | 鈴木伶 | 森田鳳介 | 田村伊織 | 小林美琴 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 市川旦 | 今井成 | 上野絢世 | 志賀惺太 | 織田光貴 | 山邊心絆 | 小網結衣 | 齋藤蒼太 | 後藤琴羽 | 佐藤由惟 | 角田竣 | 上原渚 | 佐々木柳 | 八山紬葵 | 辻紗那 | 山本朝陽 | 藤本曆 | 竹内花 | 上杉伊緒梨 | 市川頌柁 | 林花純 | 池上明里 | 宮崎朔 | 秦望港晴 | 和田季大 | 緒方悠 | 永井迦蓮 | 佐野充 | 齋藤美音 | 窪田慧 | 森田菜那 | 北村風 | 谷川瑞和 | 鎌田光結 | 吉次暁 | 伊藤颯音 | 鳴海然大 | 猪川佳矢 | 隱地幸浩 | 佐藤京真 | 津島聖 | 中谷嘉希 | 堀菜白 | 堀森心陽 | 鈴木いろは | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 栗原結月 | 熊谷汐 | 大前風翔 | 原口瑠栞 | 富吉凌久 | 福島鈴菜 | 原島由宇 | 満田裕菜 | 松山光莉 | 矢崎真里江 | 松村莉緒 | 田中飛鳥 | 今出羽看 | 原田夏帆 | 市川結葵 | 瀧本蘭太郎 | 相良菜佑 | 平田蘭子 | 柴田明莉 | 熊澤碧唯 | 若林那和 | 竹村捺広 | 武藤千桜 | 竹村捺広 | 若林那和 | 熊澤碧唯 | 柴田明莉 | 平田蘭子 | 相良菜佑 | 瀧本蘭太郎 | 今風介 | 山本朝陽 | 藤本曆 | 竹内花 | 上杉伊緒梨 | 市川頌柁 | 林花純 | 池上明里 | 宮崎朔 | 秦望港晴 | 和田季大 | 緒方悠 | 永井迦蓮 | 佐野充 | 齋藤美音 | 窪田慧 | 森田菜那 | 北村風 | 谷川瑞和 | 鎌田光結 | 吉次暁 | 伊藤颯音 | 鳴海然大 | 猪川佳矢 | 隱地幸浩 | 佐藤京真 | 津島聖 | 中谷嘉希 | 堀菜白 | 堀森心陽 | 鈴木いろは | |

もり
**緑豊かな都心の杜で
絆深める和婚式**

成人式 卒業式
衣装・美容着付・写真・
初宮饗膳(ご会食)など
承ります。

清涼殿 03(3312)7515

結婚式挙式者芳名(敬称略)
(令和6年9月1日~12月31日)

末柄 智也・梢絵	山本 大・桃子	仲 普之介・瑠光	小野 航生・京	亀谷 和之・美穂
----------	---------	----------	---------	----------

**戌の日詣りは
聖母大神・子育て八幡さまの当宮で
安産祈願祭を!**

※戌の日以外でも随時お受けしております
ご祈願の方には安産腹帯(大宮八幡息長帯)と共に、へその緒で結ばれたお母様とお子様と健康にご出産の時を迎えられますようにとの願いが込められた「母子緒守」「安産御守」「安産祈願絵馬」を特別に授与しております。



安産御守



安産祈願絵馬



母子緒守

5月	4月	3月	2月	1月
5日(祝月)	11日(金)	6日(木)	10日(月)	5日(日)
17日(土)	23日(水)	18日(火)	22日(土)	17日(金)
29日(木)		30日(日)		29日(水)

(令和7年1月~5月)

は大安の日です



すがすが
 新春にはご祈願をお受けになり、清々しい1年にいたしましょう
 (新春初祈願祭は、2月2日の節分までご奉仕致します。)



修祓の儀



斎主祝詞奏上



鈴振り神事

スマートフォンからは、下のQRコードを読み取ってご覧ください。



大宮八幡宮のホームページでは、遠方にお住まいなど、やむを得ず当宮にお越しになれない方のためにオンライン授与所を開設しております。他にも大宮八幡宮のご由緒や四季折々の祭典・行事、大宮八幡宮でしか見られない行事などが紹介されています。スマートフォンからもご覧いただけます。

大宮八幡宮オンライン授与所



大 宮 第131号
令和7年新春号
 令和7年1月1日発行
大宮八幡宮社務所
 〒168-8570
 東京都杉並区大宮2-3-1
 電話(3311)0105 FAX(3318)6100
 Mail: info@ohmiya-hachimangu.or.jp

新春社頭風景



表参道の賑わい



授与所にて新春のお守りを受ける参拝者